



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月28日

上場会社名 サンワテクノ株式会社
 コード番号 8137 URL <https://www.sunwa.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 玉木 克也

TEL 03-5202-4011

四半期報告書提出予定日 2022年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	109,192	15.9	3,307	191.2	3,504	161.7	2,502	167.8
2021年3月期第3四半期	94,184	5.7	1,135	11.3	1,338	7.7	934	6.3

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 3,344百万円 (27.2%) 2021年3月期第3四半期 2,629百万円 (128.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	158.99	
2021年3月期第3四半期	59.23	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	86,730	37,273	43.0
2021年3月期	76,381	35,030	45.9

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 37,273百万円 2021年3月期 35,030百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		17.00		17.00	34.00
2022年3月期		17.00			
2022年3月期(予想)				20.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	156,500	16.1	4,300	99.8	4,600	79.2	3,240	81.4	205.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	16,044,000 株	2021年3月期	16,044,000 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	600,419 株	2021年3月期	267,312 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	15,741,795 株	2021年3月期3Q	15,776,819 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(1) 仕入、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルスの感染状況改善により各種制限措置も段階的に緩和されたことで景気は回復基調に転化するとみられましたが、新たな変異株が登場し、依然として企業活動、経済活動は先行きが不透明な状況が続いております。世界経済については、新型コロナウイルス感染症による厳しい制限措置が緩和され、持ち直しの動きを見せておりましたが、中国では半導体不足による自動車生産減や電力不足が影響し、回復ペースはやや鈍化いたしました。欧米では新型コロナウイルス感染症の再拡大や部材入手難により、経済成長は減速いたしました。

当社グループの関連しております産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界におきましては、半導体関連・自動車関連・電子部品などの市場において設備投資が積極的に行われました。また、半導体をはじめとする部材の供給不足による生産影響を考慮した先行手配などもあり、需要は総じて高い水準で推移いたしました。

このような環境の中で当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,091億92百万円（前年同期比15.9%増）、営業利益33億7百万円（前年同期比191.2%増）、経常利益35億4百万円（前年同期比161.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益25億2百万円（前年同期比167.8%増）となりました。

部門別の業績は次のとおりであります。

[電機部門]

電機部門では、産業機械業界向けの電機品及び制御機器、半導体関連業界向けの電機品及び電気品の販売が増加いたしました。この結果、当部門の売上高は218億43百万円（前年同期比33.8%増）となりました。

[電子部門]

電子部門では、産業機械業界向け及び自動車関連搭載向けの電子部品の販売が増加いたしました。この結果、当部門の売上高は809億67百万円（前年同期比13.2%増）となりました。

[機械部門]

機械部門では、製罐業界向けの搬送装置の販売が増加いたしました。食品業界向けの設備機器の販売が減少いたしました。この結果、当部門の売上高は63億82百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

① 日本

産業機械業界向けの電機品、制御機器及び電子部品、半導体関連業界向けの電機品及び電気品、自動車関連搭載向けの電子部品、製罐業界向けの搬送装置の販売は増加いたしました。食品業界向けの設備機器の販売は減少いたしました。この結果、売上高831億53百万円（前年同期比10.6%増）、営業利益19億22百万円（前年同期比305.2%増）となりました。

② アジア

アジア地域では、産業機械業界向けの電子部品、半導体関連業界向けの電機品及び電子部品、太陽光関連業界向けの電機品の販売が増加いたしました。この結果、売上高360億87百万円（前年同期比41.0%増）、営業利益14億25百万円（前年同期比118.0%増）となりました。

③ 欧米

欧米では、産業機械業界向けの電子部品、生活用品業界向けの設備機器の販売が増加したものの、輸送費高騰の影響を大きく受け営業損失となりました。この結果、売上高44億24百万円（前年同期比27.1%増）、営業損失36百万円（前年同期は営業損失10百万円）となりました。

④ その他

売上高は5億66百万円（前年同期比8.2%減）、営業利益3百万円（前年同期比52.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、867億30百万円となり前連結会計年度末に比べ103億49百万円増加しました。受取手形、売掛金及び契約資産、電子記録債権、商品の増加が主な要因であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、494億57百万円となり前連結会計年度末に比べ81億6百万円増加しました。電子記録債務の増加が主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、372億73百万円となり前連結会計年度末に比べ22億42百万円増加しました。利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向などを踏まえ、2021年10月29日に公表いたしました連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2022年1月28日)公表いたしました「通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,113	13,269
受取手形及び売掛金	36,392	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	38,467
電子記録債権	6,061	9,327
商品	7,935	12,364
仕掛品	0	5
その他	1,036	1,687
貸倒引当金	△109	△120
流動資産合計	64,430	75,003
固定資産		
有形固定資産	2,590	2,120
無形固定資産	170	208
投資その他の資産	9,190	9,398
固定資産合計	11,951	11,727
資産合計	76,381	86,730
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,554	17,129
電子記録債務	12,901	18,310
短期借入金	4,148	4,661
1年内返済予定の長期借入金	500	2,900
未払法人税等	393	642
引当金	—	64
その他	1,873	3,100
流動負債合計	36,372	46,807
固定負債		
長期借入金	2,400	—
長期未払金	199	177
役員退職慰労引当金	104	111
退職給付に係る負債	978	1,008
その他	1,295	1,351
固定負債合計	4,978	2,650
負債合計	41,350	49,457
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,727	3,727
資本剰余金	3,548	3,549
利益剰余金	23,827	25,792
自己株式	△300	△867
株主資本合計	30,802	32,202
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,235	4,418
為替換算調整勘定	△7	651
その他の包括利益累計額合計	4,228	5,070
純資産合計	35,030	37,273
負債純資産合計	76,381	86,730

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	94,184	109,192
売上原価	84,213	95,816
売上総利益	9,971	13,376
販売費及び一般管理費	8,835	10,068
営業利益	1,135	3,307
営業外収益		
受取利息	9	14
受取配当金	98	104
仕入割引	26	30
受取家賃	101	100
その他	67	79
営業外収益合計	303	330
営業外費用		
支払利息	37	34
売上債権売却損	23	29
為替差損	27	57
その他	11	12
営業外費用合計	100	134
経常利益	1,338	3,504
特別利益		
投資有価証券売却益	7	61
固定資産売却益	—	21
特別利益合計	7	82
特別損失		
会員権評価損	9	—
特別損失合計	9	—
税金等調整前四半期純利益	1,337	3,586
法人税等	402	1,084
四半期純利益	934	2,502
親会社株主に帰属する四半期純利益	934	2,502

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	934	2,502
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,892	183
為替換算調整勘定	△197	658
その他の包括利益合計	1,695	842
四半期包括利益	2,629	3,344
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,629	3,344
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年6月25日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式30,000株の処分を行いました。また、2021年10月29日開催の取締役会決議に基づき、自己株式363,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が566百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が867百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、買戻し契約に該当する有償支給取引については、従来は支給先から受け取る対価を収益として認識しておりましたが、当該収益を認識しない方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高及び売上原価は119億10百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高は0百万円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	67,895	22,887	2,813	93,597	587	94,184	—	94,184
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,290	2,701	666	10,659	30	10,689	△10,689	—
計	75,186	25,588	3,480	104,256	617	104,873	△10,689	94,184
セグメント利益又は損 失(△)	474	653	△10	1,117	6	1,124	11	1,135

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額11百万円には、セグメント間取引消去12百万円及び棚卸資産の調整額△0百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	72,256	32,547	3,838	108,643	549	109,192	—	109,192
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,896	3,539	585	15,021	17	15,038	△15,038	—
計	83,153	36,087	4,424	123,664	566	124,231	△15,038	109,192
セグメント利益又は損 失(△)	1,922	1,425	△36	3,312	3	3,315	△7	3,307

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△7百万円には、セグメント間取引消去11百万円及び棚卸資産の調整額△18百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 仕入、受注及び販売の状況

①商品仕入実績

当第3四半期連結累計期間の商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	前年同期比 (%)
日本 (百万円)	72,834	110.6
アジア (百万円)	24,589	144.7
欧米 (百万円)	2,423	117.0
報告セグメント計 (百万円)	99,847	117.6
その他 (百万円)	404	87.0
合計 (百万円)	100,251	117.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注状況

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
日本	101,168	147.3	47,879	284.8
アジア	43,896	194.5	19,293	278.5
欧米	4,840	189.2	1,557	271.5
報告セグメント計	149,906	159.8	68,730	282.7
その他	638	117.9	185	95.5
合計	150,544	159.6	68,916	281.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	前年同期比 (%)
日本 (百万円)	72,256	106.4
アジア (百万円)	32,547	142.2
欧米 (百万円)	3,838	136.4
報告セグメント計 (百万円)	108,643	116.1
その他 (百万円)	549	93.6
合計 (百万円)	109,192	115.9

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。